

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第270号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年8月24日 16時35分ごろ	
発生場所	愛媛県松山市中島町歌埼東方沖 歌埼灯台から東方2,500m付近	
事故等調査の経過	平成21年10月13日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 旅客船 ^{しょうこう} 祥光、189トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133973、石崎汽船株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 機関長、四級海技士（機関）</p> <p>死傷者等 なし</p>	
損傷	左舷主機右舷列1番シリンダの排気弁1本及び排気弁用プッシュロッドに曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、旅客27人を乗せ、広島港を愛媛県松山港に向けて歌埼東方沖を航行中、平成21年8月24日16時35分ごろ、左舷主機右舷列1番シリンダの排気温度低下警報装置が作動した。</p> <p>本船は、機関長が左舷主機を停止して点検したところ、右舷列1番シリンダ排気弁のコッター及びばね受けが外れていたため、右舷主機のみで航行して定刻より39分遅れで松山港に入港した。</p>	
気象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1	
その他の事項	<p>平成21年1月中旬検査工事で、機関整備業者が主機吸排気弁の整備を行った。</p> <p>排気弁の弁棒部が膠着していた。</p> <p>排気弁の弁シート部に燃焼ガスが漏れた跡があった。</p> <p>左舷主機動弁装置の注油状況に異常はなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、歌埼東方沖を航行中、左舷主機右舷列1番シリンダの排気弁が燃焼ガス漏れにより弁棒部が膠着し、排気弁及びプッシュロッドが曲損したものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が歌埼東方沖を航行中、左舷主機右舷列1番シリンダの排気弁が燃焼ガス漏れにより弁棒部が膠着したため、排気弁及びプッシュロッドが曲損したことにより発生したものと考えられる。	